

全地連「技術フォーラム 2025 山形」で、6 名の社員が技術発表

地質調査技術の向上と技術者の育成を目的に、1990 年から続く「技術フォーラム」

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションに据える株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）では、大切にしている価値観（バリュー）の一つとして、「品質・技術力で勝る会社になる」を掲げ、社員は自己研鑽に励んでいます。

2025 年 9 月 11 日・12 日に開催された「技術フォーラム 2025 山形」（主催：一般社団法人全国地質調査業協会連合会）では、6 名の ATK 社員が技術発表を行いました。概要は以下の通りです。

発表者	セッションおよび題目（発表内容へのリンクを含む）
廣川 開	地質リスク事例研究セッション 大規模盛土の地盤安定性評価における地質調査の重要性
野口 太一	盛土セッション（特定盛土・大規模盛土・宅地盛土・道路盛土） 盛土の崩壊メカニズムについて
中道 翔太郎	3 次元地盤モデルセッション 多角的視点で挑む坑道調査
平井 陸大	軟弱地盤調査セッション 液状化検討における塑性指数の重要性
久保田 峻介	軟弱地盤調査セッション 液状化検討における「地表面」とは
河井 寛	岩盤調査セッション 花崗岩の破碎帯における地質調査事例

以上